

▶▶福井県

学生たちの希望を ふるさと納税で叶えたい

福井県では、ふるさと納税を活用し、県内高校生へ2つの支援を行っています。

一つ目は「ふるさと母校応援」です。応援したい高校を指定し、ふるさと納税を行うと、寄附額の1/2が、当該高校の施設整備や研修活動費等に活用され、残りの1/2が、返還不要の給付型奨学金「福井県きぼう応援奨学金」の財源として活用されます。

二つ目は「長期海外留学支援」です。留学希望の学生を応援し、

世界で活躍できる人材育成のため、長期留学に対する奨学金制度を設けています。

寄附者に対しては、寄附先の学校からの活用実績の報告や感謝の手紙、海外留学中の学生からの留学中の生活や成長の様子を伝えるレポートを送付しています。



母校応援による自習室整備



支援した留学生が出演するふるさと納税PR動画

注力した点や工夫した点

- ・各高校の同窓会にて、卒業生へ「ふるさと母校応援」の周知を行いました。
- ・県のウェブサイトにも留学生出演するPR動画の掲載や、本県出身の留学経験者へ制度の周知協力を依頼しました。

Check

取組の効果

「ふるさと母校応援」では、自習室の整備や講演設備の充実、部活動の備品購入、学生の短期海外研修など、学校ごとに必要な事業に活用しています。また、「福井県きぼう応援奨学金」を活用し、平成27年度より、毎年約20人が高校へ進学しています。



支援した留学生が海外で学ぶ様子

「長期海外留学支援」では、平成28年度より学生への支援を実施し、アメリカ、ドイツ、中国などへ長期海外留学をしています。



母校応援による講演設備の充実

寄附者の声



- ・母校の生徒が卒業後に大きく羽ばたくことを期待し、お手伝いします。

住民の声



- ・全国の方からの応援が励みになります。(留学生)
- ・高校生が、経済的負担を気にすることなく長期留学にチャレンジできる良い制度だと思います。